



地域の未来をつくる子どもたちの健全育成に貢献している「幼稚園キッズサッカーキャラバン」での1コマ。ボール遊びをしながらプロのテクニックを間近で見ることができた子どもたちは、笑顔のあふれる1日となった。

ネーターの平瀬智行と、昨年まで選手として16年間チームに在籍し、現在は地域連携課スタッフとして働く菅井直樹などが、遊びを通じて子どもたちを笑顔にし、身体を動かす楽しさを体験してもらいました。

地域貢献を 息の長い事業として実践

「地産地消」への取り組みも行ってると伺いましたが。

本年度からは、継続性を重視した事業を展開しています。一例を挙げますと、宮城県各地をファンやサポーターの皆さまと巡る「ベガルタ×ふるさとで遊ぼう」という企画があります。「地域の自然とふれあい、心も身体も健康に」をテーマに、ふるさとの魅力を再発見していただくという趣旨です。

クローズアップインタビュー

創立25周年の節目に、 市民・県民の皆さまへの 「恩返し」の気持ちで 事業を展開いたします。



株式会社ベガルタ仙台
代表取締役社長

きくち しゅう いっ
菊池 秀逸 氏

プロフィール

1952年生まれ。宮城県巨野町出身。血液型A型。仙台育英学園高等学校を卒業後、1974年仙台テレビ放送に入社。東京支社長、取締役営業局長を経て、常務取締役、顧問を歴任。2018年1月株式会社ベガルタ仙台営業本部長に就任。専務取締役を経て2019年4月より現職。「仕事柄ということではないのですが、趣味はスポーツ観戦です。サッカーだけではなく、野球やバスケットボールなど、どんなスポーツでも観戦するのが好きです」と話す。

市民・県民クラブとして 「恩返し」の思いを込めて

1994年の設立から25周年を迎えるこの節目のタイミングで社長に就任された現在の心境をお聞かせください。

まず、市民・県民の皆さまや、ファン企業の方々を支えていただき、今日まで運営させていただいていることに感謝いたします。ベガルタ仙台のトップチームが、J1に定着しておよそ10年が経過しますが、ホームゲームはもちろん、アウェーゲームにも、たくさんの方々のサポーターの方々が会場まで足を運び、応援してくださっています。市民・県民クラブとして、皆さまと一体であることを実感できる機会が多く、素晴らしいクラブであると自負しております。創立25周年を迎えましたが、これからも地域に貢献できる、愛されるチームとして、常に前向きな姿勢で存在感を示し、戦い続けることが大切であると確信しています。

菊池社長は、営業本部長などを歴任し、クラブ運営に尽力されてこられました。社長になっての視点の変化などはありましたか。

プロサッカークラブに貢献するという点では、本部長であろうと社長であろうと、クラブ一丸となってやってきたことは、これからも何ら変わりはありません。前任の西川氏から引き継い

でいくものや、創立25周年の節目として立ち上げた「KIZUNA未来プロジェクト」事業を推進していきます。

「点」をつなげて より深い「絆」を未来に拡大

「KIZUNA未来プロジェクト」について、教えてください。

これは市民・県民クラブとしての原点に立ち返り、より深い絆を広げたいという活動です。これまで、当クラブはスポーツ振興、地域連携、社会貢献、東日本大震災復興支援という4つの柱を軸に活動を行ってまいりました。これらを継続しながら、新たなエッセンスを付け加える形で、さらに深化した活動を展開しています。これまで支えていただいた方々に、感謝の思いをお返しする、いわば「恩返し」を、この活動を通じて行っていきたいと考えています。

例えば、「地域連携」の一環として、幼少期からスポーツの楽しさを体感してもらうことを目的に「幼稚園キッズサッカーキャラバン」をスタートしました。2016年から宮城県内の小学校で実施している「復興支援サッカーキャラバン」に続いて、未就学児を対象に、サッカーをはじめとした、スポーツ全般の教室を展開しています。実はちょうど、今日（取材日：5月27日）は泉区の幼稚園に、日本代表選手として活躍し、現在はクラブコーチ

タートしました。第1弾として、4月に大和町のワイン醸造所のブドウ畑に苗木を植えました。ワインをつくるのにふさわしい実をつけるまでは、3年から4年かかるそうです。今後は枝の剪定からブドウの収穫といった作業もお手伝いし、完成したワインをスタジアムで試飲したり、販売したりするところまでつなげていきたいと考えています。また、ワインだけではなく、仙台・宮城の地で、他の農産物や海産物などの生産に関わることが盛り上げとなり、消費までつながらるように地元ブランドを売り出していく、あるいは積極的に応援させていただきたいと思っています。これは、時間がかかる事業ですので、地元の方々と一緒に、丁寧に進めていきたいと考えています。

今シーズンのチームについて、また抱負をお聞かせください。

トップチームは、スタートこそ厳しい状況にありましたが、ホームゲームに勝ち星がついてまいりましたし、ルヴァンカップも良い形でグループステージを突破しました。戦略を持った上で戦っており、好転のチャンスをつかみ、フロントとしてもしっかり支えていこうと考えております。また、マイナビベガルタ仙台レディースは辛島啓球監督に変わり、新しいスタイルに取り組んでおり、これからの活躍を非常に期待しているところで

今後の抱負ですが、市民・県民クラブとして、より多くの方々にスタジアムに足を運んでいただきたいと考えています。9月以降のホームゲームではダイナミックプライシング（価格変動制）を導入するなど、チケットの販売方法などについても検討を重ねています。リーグの中には、新たな販売ルートを開発しているクラブもありますので、私たちが勉強しながら、皆さまがスタジアムに行ってみたくなるような企画立案も含め、実現を目指してまいります。一人でも多くの方々に観戦いただくことで、チームの力もますます向上します。まだサッカーを観戦されたことのない方も、ぜひ一度スタジアムならではの臨場感を体感してみてください。応援よろしく願います。

【概要】
株式会社ベガルタ仙台

代表者：菊池 秀逸
設立：1994年10月7日
資本金：624,891,122円
事業内容：地域のシンボルたるプロサッカーチームとして、豊かなスポーツ文化の振興と青少年の健全育成、地域の活性化に寄与する。
所在地：仙台市青葉区本町3-6-16 漁信ビル4F
TEL.022-216-1011
ホームページ：https://www.vegalta.co.jp

より良い環境をめざす。

青葉環境保全 AOBA

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL.022(286)3161(代)